



2021年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社 ZOA

上場取引所 東

コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 伊井 一史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 安井 明宏

TEL 055-922-1975

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日

配当支払開始予定日

2021年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	9,518	12.6	485	118.6	490	117.8	328	120.9
2020年3月期	8,452	4.9	222	21.5	225	17.9	148	24.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	226.14		15.7	10.1	5.1
2020年3月期	101.97		7.8	4.7	2.6

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,115	2,237	43.7	1,538.85
2020年3月期	4,636	1,959	42.3	1,347.71

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,237百万円 2020年3月期 1,959百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	928	1	246	1,628
2020年3月期	236	123	227	948

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		35.00	35.00	50	34.3	2.6
2021年3月期		0.00		45.00	45.00	65	19.9	3.1
2022年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00		21.5	

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,521	7.0	202	25.6	204	25.4	139	26.8	95.65
通期	9,000	5.5	395	18.5	400	18.4	270	17.9	185.69

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	1,454,000 株	2020年3月期	2,296,500 株
期末自己株式数	2021年3月期	株	2020年3月期	842,500 株
期中平均株式数	2021年3月期	1,454,000 株	2020年3月期	1,459,863 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会・経済活動が大きく制限される中、企業収益の悪化や個人消費の減退等により非常に厳しい状況で推移しました。ワクチン接種が始まる等、対策は進められているものの、改善の見通しは立たず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方でパソコン業界を取り巻く状況については、リモートワークやオンライン授業等によりパソコンの購入ニーズは高まっており、コロナ禍においても堅調に推移しております。

このような状況下で当社は、パソコン事業においては、お客様にとって魅力のある高性能で低価格なパソコンの販売に取り組みました。また販売時には、お客様が今まで使用されていたパソコンのデータ引越し作業等を含むパソコン初期設定サービスの推進も強化しました。さらにお客様のご自宅にお伺いしてパソコンの設置や無線環境の設定を行う出張サポートサービスも本格的に開始した結果、当社のパソコン事業に関しては収益性が向上し、利益増加につながりました。

また期間後半は、高水準で推移していたパソコン本体の販売勢いは鈍化したものの、お客様の利用環境改善意識が高まり、高画質や大画面の液晶ディスプレイや高速通信に対応した無線ルータ等の周辺機器、マウスやケーブル類等のサプライ品が好調に推移し、パソコン事業全体の底上げにつながりました。

その他、ゲーミングPCの人气が急速に高まり、既存品ではなくお客様のご要望により自由にケースやスペックを選択できるセミオーダーの組み立てPCの需要も増加しました。さらに2021年に入ってから、マイニングの人气再発による需要の急増によりグラフィックボードが市場から消えるほどの品薄状態となりましたが、当社では商品確保を最優先することで売上を大幅に伸ばすことができました。

以上の結果、パソコン事業全体の売上高は6,362,897千円（前期比5.4%増）となりました。

バイク事業においては、新型コロナウイルスの感染拡大により移動手段としてバイク需要が増加傾向にあり、ヘルメット・ジャケット・グローブの主要カテゴリを中心に好調に推移しました。加えて、オイルやクリーナー等のメンテナンス用品も販売良好で実績を押し上げました。

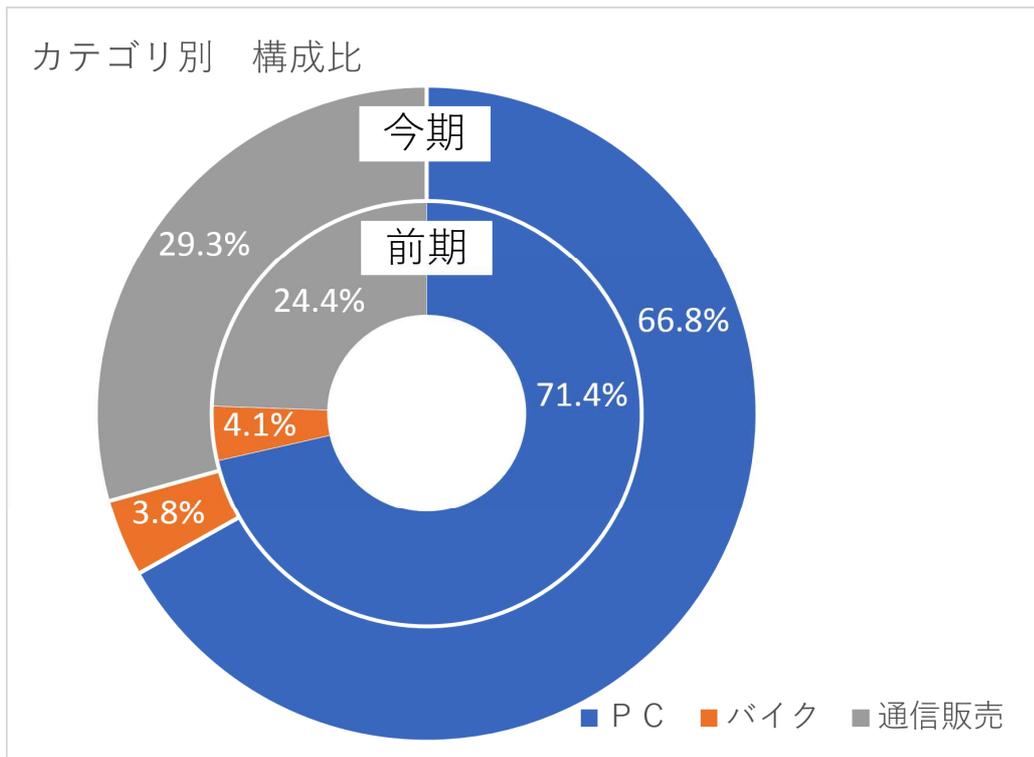
以上の結果、バイク事業全体の売上高は365,654千円（前期比4.7%増）となりました。

インターネット通信販売事業においては、各モール特有のセール企画を最大限に活用する取り組みを実践し、売上高を大幅に向上させることを継続的に実施しました。また、販売分析や話題性の高い商品等の情報収集を強化し仕入れに反映させ、ニーズの高い商品をしっかりと調達することで売上高の増加につながりました。

以上の結果、インターネット通信販売事業全体の売上高は2,790,341千円（前期比35.1%増）となりました。

経費につきましては、インターネット通信販売事業の売上増加に伴い荷造運賃費及び支払手数料が増加しておりますが、それに見合う売上高の増加が図られております。

以上の結果、当事業年度の業績については、売上高9,518,893千円（前期比12.6%増）、経常利益490,138千円（前期比117.8%増）、当期純利益328,803千円（前期比120.9%増）となりました。



(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べ479,283千円増加し、5,115,413千円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が679,910千円、売掛金が91,150千円それぞれ増加し、商品が253,992千円減少したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べ201,369千円増加し、2,877,923千円となりました。その主たる要因は、買掛金が279,644千円、未払法人税等が77,353千円それぞれ増加し、長期借入金が195,762千円減少したこと等によるものであります。

また、純資産については、前事業年度末に比べ277,913千円増加し、2,237,490千円となり、当事業年度末における自己資本比率は43.7%、1株当たり純資産は1,538円85銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ679,910千円増加し、1,628,560千円（前年同期比71.7%増）となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、928,341千円の収入超過（前年同期は236,454千円の収入超過）となりました。その主たる要因は、税引前当期純利益481,648千円を計上し、仕入債務が279,644千円増加、たな卸資産が253,754千円減少したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,832千円の支出超過（前年同期は123,439千円の支出超過）となりました。その主たる要因は、有形固定資産の取得による支出14,234千円、長期貸付金の回収による収入10,164千円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、246,653千円の支出超過（前年同期は227,062千円の支出超過）となりました。これは、長期借入れによる収入450,000千円、長期借入金の返済による支出645,762千円、配当金の支払額50,891千円があったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

2022年3月期の業績予想につきましては、いまだ収束の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症により、経済活動は今後も低迷することが見込まれます。また、当社におきましては、新型コロナウイルス感染症により利用促進が図られたテレワークやオンライン教育の効果により、当事業年度は好調に推移してまいりましたが、2022年3月期はその反動減が心配されております。

このような状況ではありますが、パソコン事業については人気が高まっているゲーミングPCや組立自作PCの販売強化を推進して参ります。その他、当社の強みでもありますサポート力をアピールして、既存ユーザーの不安・不満の解消から買い替えのご提案まで、お客様のパソコンに関するお問い合わせにしっかりと対応することで、お客様本位の店舗運営を実践し、地域に根差した経営活動を推進して参ります。また、専門店として求められる品揃えの強化や社員の知識・技術の向上にも引き続き取り組むことで、各店舗・社員のスキルアップにも努めます。

バイク事業につきましては、コロナ禍で密を避けた交通手段として見直されているバイク需要に対応するべく、品揃えの充実を図ることで更なる売上拡大に取り組んで参ります。

通販事業につきましては、引き続き商品掲載の強化を進めるとともに、システム化を推進することでより効率的な生産性の高い通販システムの構築を実践し、売上の拡大に取り組んで参ります。また、価格追従による販売促進はもちろん、ニッチで値崩れの少ない商品を幅広く展開することで、収益の向上にも取り組んで参ります。

その他、当事業年度に新規オープンしましたOANAガシマ藤枝店が1年を通じて売上に寄与すること、また同じく当事業年度に新設しましたマーケティング部による販促活動の強化等により、集客増加にも努めます。

以上を踏まえまして、2022年3月期の通期業績予想は次のとおりであります。

売	上	高	9,000,000千円	(前期比5.5%減)
営	業	利	395,686千円	(同18.5%減)
経	常	利	400,000千円	(同18.4%減)
当	期	純	270,000千円	(同17.9%減)
		益		

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位 : 千円)

	前事業年度 (2020年 3 月31日)	当事業年度 (2021年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	948,649	1,628,560
売掛金	368,850	460,000
商品	1,619,340	1,365,347
貯蔵品	4,872	5,110
前渡金	606	440
前払費用	51,599	44,892
その他	8,265	14,170
貸倒引当金	△1,387	△1,352
流動資産合計	3,000,798	3,517,171
固定資産		
有形固定資産		
建物	816,587	823,428
減価償却累計額	△629,652	△648,469
建物 (純額)	186,935	174,959
構築物	93,739	93,739
減価償却累計額	△86,548	△87,523
構築物 (純額)	7,191	6,216
車両運搬具	22,935	25,603
減価償却累計額	△19,291	△21,646
車両運搬具 (純額)	3,644	3,956
工具、器具及び備品	350,747	373,657
減価償却累計額	△337,281	△362,573
工具、器具及び備品 (純額)	13,466	11,084
土地	849,149	859,758
有形固定資産合計	1,060,386	1,055,974
無形固定資産		
電話加入権	8,888	—
ソフトウェア	3,252	1,473
無形固定資産合計	12,141	1,473
投資その他の資産		
出資金	6,315	6,295
繰延税金資産	49,623	53,712
差入保証金	211,418	208,989
長期貸付金	124,904	114,739
長期前払費用	170,543	157,057
投資その他の資産合計	562,804	540,794
固定資産合計	1,635,332	1,598,242
資産合計	4,636,130	5,115,413

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	523,044	802,689
1年内返済予定の長期借入金	612,432	607,828
未払金	102,240	116,989
未払費用	17,919	18,493
未払法人税等	55,668	133,022
未払配当金	204	202
未払消費税等	51,818	51,842
前受金	11,917	22,753
預り金	7,517	15,926
前受収益	2,229	2,023
賞与引当金	32,103	31,414
ポイント引当金	14,668	15,054
その他	2,078	2,728
流動負債合計	1,433,842	1,820,967
固定負債		
長期借入金	1,152,778	961,620
長期末払金	4,133	4,133
退職給付引当金	85,800	91,203
固定負債合計	1,242,711	1,056,956
負債合計	2,676,553	2,877,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金		
資本準備金	323,753	323,753
その他資本剰余金	21,296	—
資本剰余金合計	345,049	323,753
利益剰余金		
利益準備金	25,000	25,000
その他利益剰余金		
別途積立金	1,370,700	770,700
繰越利益剰余金	555,043	786,050
利益剰余金合計	1,950,743	1,581,750
自己株式	△668,202	—
株主資本合計	1,959,576	2,237,490
純資産合計	1,959,576	2,237,490
負債純資産合計	4,636,130	5,115,413

(2) 損益計算書

(単位 : 千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,452,233	9,518,893
売上原価		
商品期首たな卸高	1,949,441	1,619,340
当期商品仕入高	6,239,649	7,026,322
合計	8,189,090	8,645,662
商品期末たな卸高	1,619,340	1,365,347
商品売上原価	6,569,750	7,280,314
売上総利益	1,882,482	2,238,578
販売費及び一般管理費		
役員報酬	58,939	74,465
給料及び賞与	489,129	510,426
福利厚生費	81,900	88,507
貸倒引当金繰入額	△127	△35
賞与引当金繰入額	32,103	31,414
退職給付費用	8,614	9,752
広告宣伝費	87,007	88,753
賃借料	300,001	283,450
消耗品費	42,118	37,628
水道光熱費	57,306	51,840
減価償却費	32,858	29,200
支払手数料	196,201	251,356
その他	274,370	296,413
販売費及び一般管理費合計	1,660,426	1,753,175
営業利益	222,056	485,403
営業外収益		
受取利息	82	76
受取配当金	567	567
受取手数料	7,359	8,482
受取保険金	608	—
その他	84	423
営業外収益合計	8,702	9,549
営業外費用		
支払利息	5,135	4,796
社債利息	76	—
為替差損	152	—
その他	358	18
営業外費用合計	5,722	4,814
経常利益	225,036	490,138
特別利益		
固定資産売却益	—	397
特別利益合計	—	397
特別損失		
固定資産除却損	4,441	8,888
特別損失合計	4,441	8,888
税引前当期純利益	220,595	481,648
法人税、住民税及び事業税	74,734	156,933
法人税等調整額	△3,001	△4,089
法人税等合計	71,733	152,844
当期純利益	148,862	328,803

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
						別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	331,986	323,753	19,803	343,557	25,000	1,370,700	449,861
当期変動額							
剰余金の配当							△43,680
当期純利益							148,862
自己株式の処分			1,492	1,492			
自己株式の取得							
当期変動額合計	-	-	1,492	1,492	-	-	105,182
当期末残高	331,986	323,753	21,296	345,049	25,000	1,370,700	555,043

(単位:千円)

	株主資本			純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
	利益剰余金合計			
当期首残高	1,845,561	△666,485	1,854,618	1,854,618
当期変動額				
剰余金の配当	△43,680		△43,680	△43,680
当期純利益	148,862		148,862	148,862
自己株式の処分		98,327	99,820	99,820
自己株式の取得		△100,044	△100,044	△100,044
当期変動額合計	105,182	△1,716	104,958	104,958
当期末残高	1,950,743	△668,202	1,959,576	1,959,576

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	
						別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	331,986	323,753	21,296	345,049	25,000	1,370,700	555,043
当期変動額							
剰余金の配当							△50,890
当期純利益							328,803
準備金から剰余金への振替						△600,000	600,000
自己株式の消却			△21,296	△21,296			△646,906
当期変動額合計	-	-	△21,296	△21,296	-	△600,000	231,007
当期末残高	331,986	323,753	-	323,753	25,000	770,700	786,050

(単位:千円)

	株主資本			純資産合計
	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
	利益剰余金合計			
当期首残高	1,950,743	△668,202	1,959,576	1,959,576
当期変動額				
剰余金の配当	△50,890		△50,890	△50,890
当期純利益	328,803		328,803	328,803
準備金から剰余金への振替	-		-	-
自己株式の消却	△646,906	668,202	-	-
当期変動額合計	△368,992	668,202	277,913	277,913
当期末残高	1,581,750	-	2,237,490	2,237,490

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	220,595	481,648
減価償却費	32,858	29,200
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△127	△35
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,801	△689
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,902	386
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,664	5,403
受取利息及び受取配当金	△649	△643
支払利息	5,211	4,796
為替差損益(△は益)	152	△55
売上債権の増減額(△は増加)	△38,052	△80,314
未収入金の増減額(△は増加)	△85	85
たな卸資産の増減額(△は増加)	330,724	253,754
仕入債務の増減額(△は減少)	△315,353	279,644
前払費用の増減額(△は増加)	△8,528	6,752
未払金の増減額(△は減少)	29,300	5,974
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,923	24
その他	23,954	28,380
小計	286,557	1,014,313
利息及び配当金の受取額	649	643
利息の支払額	△5,049	△4,841
法人税等の支払額	△45,702	△81,773
営業活動によるキャッシュ・フロー	236,454	928,341
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△143,061	△14,234
無形固定資産の取得による支出	△594	—
有形固定資産の売却による収入	—	397
出資金の回収による収入	—	20
長期貸付金の回収による収入	7,499	10,164
差入保証金の差入による支出	△3,625	△5,856
差入保証金の回収による収入	16,342	7,676
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,439	△1,832
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500,000	450,000
社債の償還による支出	△20,000	—
長期借入金の返済による支出	△563,292	△645,762
自己株式の取得による支出	△100,044	—
配当金の支払額	△43,726	△50,891
財務活動によるキャッシュ・フロー	△227,062	△246,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	△152	55
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△114,200	679,910
現金及び現金同等物の期首残高	1,062,850	948,649
現金及び現金同等物の期末残高	948,649	1,628,560

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社の事業セグメントは、パソコンを中心とした小売業及びその他の事業であります。その他の事業の割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社の事業セグメントは、パソコンを中心とした小売業及びその他の事業であります。その他の事業の割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社の事業セグメントは、パソコンを中心とした小売業及びその他の事業であります。その他の事業の割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社の事業セグメントは、パソコンを中心とした小売業及びその他の事業であります。その他の事業の割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,347.71円	1,538.85円
1株当たり当期純利益金額	101.97円	226.14円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益(千円)	148,862	328,803
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	148,862	328,803
期中平均株式数(株)	1,459,863	1,454,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません